

## 佐賀県におけるインフルエンザの流行 (2016/17シーズン)

ウイルス課 諸石 早苗 堤 陽子 島 あかり 安藤 克幸

佐賀県感染症発生動向調査事業におけるインフルエンザの発生状況調査 (2016/17 シーズン) および集団発生状況調査の概要は以下のとおりでした。

### ウイルス検出・分離

2016 年 9 月から 2017 年 3 月まで、県内定点医療機関(インフルエンザ・小児科・基幹病原体定点)におけるインフルエンザ様疾患患者(以下、散発事例)127 名の鼻・咽頭ぬぐい液と県内の保健福祉事務所管内におけるインフルエンザ集団発生事例(以下、集団事例)5 事例 18 名の鼻咽頭ぬぐい液など、計 145 検体について、インフルエンザウイルスの検出・分離を行いました。

### ウイルス分離

インフルエンザウイルス分離には MDCK 細胞を用い、分離株の同定は国立感染症研究所から分与された診断用試薬キットとモルモット赤血球およびニワトリ赤血球を用いた HI 試験により行いました。

### ウイルス遺伝子検出法 (RT-PCR 法等)

- ・鼻咽頭ぬぐい液からのインフルエンザ RNA 抽出法は、濃縮キットを使用しました。
- ・うがい液からのインフルエンザ RNA 抽出法は、10ml を Amicon Ultra-15 で濃縮し容量を 0.5ml 以下にした後、キットを使用して抽出しました。
- ・インフルエンザウイルスの検出は、国立感染症研究所の病原体検出マニュアルに従ってリアルタイム PCR 法およびコンベンショナル RT-PCR 法を実施しました。

### 結果

#### 1) インフルエンザ患者の発生状況

##### 散発事例

佐賀県感染症情報センターによる 2016/17 シーズンのインフルエンザ患者報告数は図 1 のとおり、ピークの時期は 1 月下旬でした。

##### 集団事例 (図 1、表 1)

佐賀県インフルエンザ学級等閉鎖情報による 2016/17 シーズンの集団発生は、表 1 のとおりでした。

[事例・資料]

図1 2016/2017シーズンにおけるインフルエンザ患者発生状況

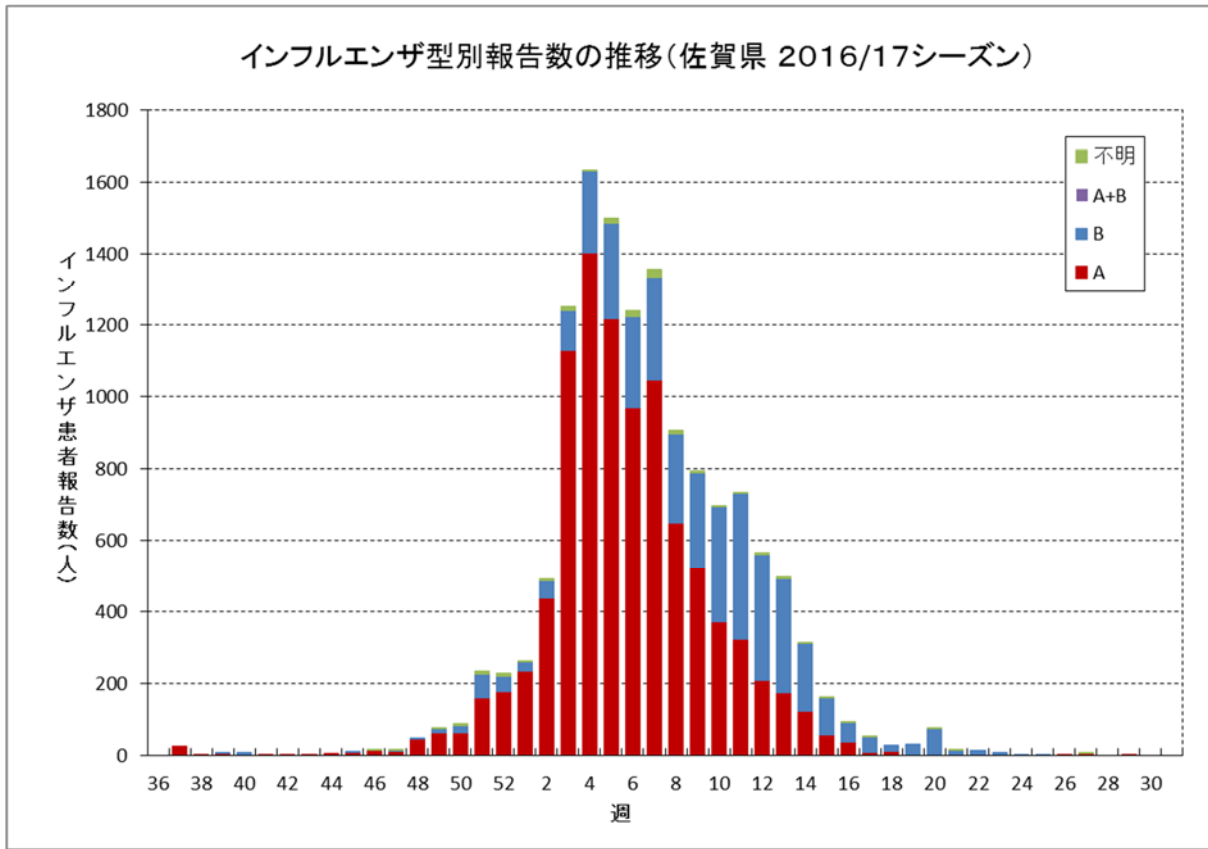


表1 インフルエンザ集団発生施設別発生状況

施設	臨時休業数	患者数	措置		
			休校	学年閉鎖	学級閉鎖
幼稚園・保育園	22	177	1	1	20
小学校	151	1471	0	48	103
中学校	64	748	0	14	50
高等学校	28	448	0	7	21
短期・大学、他	4	28	0	4	0
計	269	2872	0	74	194

[事例・資料]

2) ウイルス検出状況

散発事例における検出状況(表2)

表2 2015/16シーズンにおけるインフルエンザウイルス検出状況

		2016年 9月				10月				11月				12月	
週		36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
報告数		0	25	2	7	7	2	3	4	5	8	15	16	46	77
定点当たり患者発生数(人/定点)		0.00	0.64	0.05	0.18	0.18	0.05	0.08	0.10	0.13	0.21	0.38	0.41	1.18	1.97
検出数計			4		1			1			1	1	2	6	6
内 訳	AH1pdm09														
	AH3亜型		4					1			1		2	3	4
	B(ビクトリア系統)				1										
	B(山形系統)											1		3	2

2017年 1月					2月					3月					4月				
50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
89	233	227	263	490	1252	1635	1499	1240	1356	905	793	698	735	566	496	313	161	93	
2.28	5.97	5.82	6.74	12.56	32.10	41.92	38.44	31.79	34.77	23.21	20.33	17.90	18.85	14.51	12.72	8.03	4.13	2.38	
2	4	6	4	6	17	11	9	8	9	6	9	7	8	9	7	6	2	2	
				1		1	1		2		1				1				
2	3	2	4	5	10	8	6	7	5	3	4	5	4	3	2	1	1	1	
		1				2	1	1	1	2	2		2	2	3	3	1	1	
	1	3			7		1		1	1	2	2	2	4	1	2			

5月				6月				7月				8月						
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
53	27	30	77	14	13	9	2	1	1	6	0	1	0	0	0	0	0	0
1.36	0.69	0.77	1.97	0.36	0.33	0.23	0.05	0.03	0.03	0.15	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2		1	2	1	1	1												
			1		1	1												
2		1	1	1														

[事例・資料]

## 集団事例におけるウイルス検出状況(表3)

表2 2016/17シーズンインフルエンザ集団発生事例におけるウイルス検出状況

事例番号		管轄保健 福祉事務所	発生地、施設名	検出・分離数	検体数	型
1	2016.9.15	杵藤	武雄市、小学校	4	4	AH3亜型
2	2016.12.1	佐賀中部	佐賀市、小学校	3	3	B型(山形系統)
3	2017.1.17	唐津	唐津市、小学校	5	5	B型(山形系統)
4	2017.1.19	鳥栖	鳥栖市、中学校	4	4	AH3亜型
5	2017.1.25	伊万里	伊万里市、小学校	2	2	AH3亜型
				18	18	100.0%

## 考察

2016/17シーズンにおけるインフルエンザの流行は、2014/15シーズンにおける流行と類似して、1月下旬をピークとする流行パターンでした。今後ともインフルエンザウイルスの大流行と各亜型による変異株の出現に備え、ウイルス病原体の迅速な検出と分離および遺伝子的な解析を継続的に実施していくことが重要であると考えています。